

環境政策論Ⅰ

2 単位 (選択) 2 年 (前期)

栗栖 聡・教授 / 社会創生学科

【授業目的】環境政策について体系的に理解することによって、持続可能な社会への転換の方向性を把握すること。

【授業概要】環境問題、環境政治・政策学、現代社会の基本的枠組みを検討し、ついで、環境政策に関して、その理念、手法、決定過程を検討する。さらに、環境基本法を踏まえつつ、大気、水、自然環境に関する規制の内容、循環型社会形成のための政策について論じる。最後に、市民参加の観点から環境影響評価の仕組みを検討する。

【到達目標】環境政策の体系的理解

【授業計画】

1. 環境問題とは
2. 環境政治・政策とは
3. 環境問題と国家の役割
4. 環境政策の理念
5. 環境政策の手法 (総論)
6. 環境政策の手法 (規制, 経済的手法, 市民参加等)
7. 環境政策決定過程 (議会, 行政)
8. 環境基本法の制定過程と概要
9. 規制 (大気, 水, 土壌)
10. 規制 (自然環境保全)
11. 循環型社会形成政策 (廃棄物処理)
12. 循環型社会形成政策 (排出削減)
13. 環境影響評価 (事業アセス) と市民参加
14. 環境影響評価 (戦略アセス) と市民参加
15. 試験
16. まとめ

【成績評価】平常点 (20%) と期末試験 (80%)

【再試験】なし

【教科書】なし

【参考書】授業中に指示する

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218487>

【連絡先】

⇒ 栗栖 (2207-1, 0886567185, kurisu@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL